

特集

「つなぐ」庁舎



No.229 広報 たなべ 6月号 Jun. 2024 令和6年6月1日発行
編集・発行/田辺市企画広報課 〒646-8545 和歌山県田辺市東山一丁目5-1
☎0739(26)9963 ☎0739(22)5310
✉kikaku@city.tanabe.lg.jp ☎https://www.city.tanabe.lg.jp/

「紀伊山地の霊場と参詣道」 世界遺産登録 20 周年記念シンポジウム in 田辺

日時：7月6日(土) 13時30分～16時30分
会場：紀南文化会館 大ホール

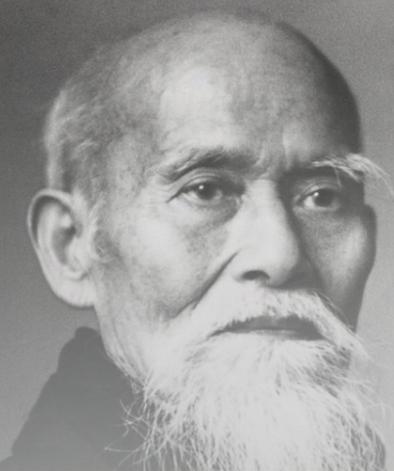
トークセッション 15:25

熊野の魅力とこれからの熊野

パネリスト：内田 樹 氏

釈 徹宗 氏 (宗教学者・相愛大学学長)

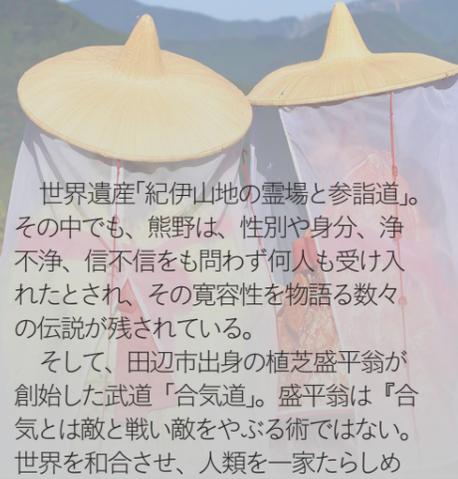
コーディネーター：真砂 充敏 (田辺市長)



基調講演 14:10

合気道の開祖・植芝盛平翁を生んだ 熊野のチカラ

講師：内田 樹 氏 (思想家・武道家)



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の中でも、熊野は、性別や身分、浄不浄、信不信をも問わず何人も受け入れたとされ、その寛容性を物語る数々の伝説が残されている。

そして、田辺市出身の植芝盛平翁が創始した武道「合気道」。盛平翁は『合気とは敵と戦い敵をやぶる術ではない。世界を和合させ、人類を一家たらしめる道である。』と述べており、いまや世界140の国と地域に広がっている。

今回のシンポジウムでは、思想家であり合気道凱風館館長でもある内田樹氏と、「聖地巡礼ライジング 熊野紀行」を内田氏と共に著した宗教学者の釈徹宗氏をお招きして、「合気道の開祖・植芝盛平翁を生んだ熊野」の魅力を再認識し、これからの世界遺産の地、田辺の未来について考えていく。

パネリスト



内田 樹

1950(昭和25)年、東京都生まれ。思想家・武道家、合気道凱風館館長。神戸女学院大学名誉教授。東京大学文学部仏文学科卒。専門はフランス文学・哲学、武道論、教育論など。第六回小林秀雄賞(『私教版・ユダヤ文化論』)、2010年度新書大賞(『日本辺境論』)、第三回伊丹十三賞を受賞。主な著書に『ためらいの倫理学』『レヴィナスと愛の現象学』『死と身体』など。



釈 徹宗

1961(昭和36)年、大阪府生まれ。浄土真宗本願寺派・如来寺住職。相愛大学学長。龍谷大学文学部仏教学科卒業、大阪府立大学大学院人間文化研究科博士課程(比較文化専攻)修了。専門は比較宗教思想。論文『不干斎ハビアン論』で涙骨賞優秀賞(第五回)、『落語に花咲く仏教』で河合隼雄学芸賞(第五回)、また仏教伝道文化賞・沼田奨励賞(第五十一回)を受賞。主な著書に『法然親鸞一遍』『天才富永仲基 独創の町人学者』など。

コーディネーター



真砂 充敏

申 6月25日(土)までに下記へ、住所、氏名、電話番号を、電話又はFAXでご連絡いただくか、ホームページからお申し込みください。

問 観光振興課 観光振興係 (本庁舎4階) ☎0739(26)9929 ☎0739(22)9903

☎ https://amarys-jtb.jp/sekaisan20th_tanabe/

